

「利根導水路大規模地震対策事業完工式」を開催します

水資源機構が管理する利根導水路施設では、大規模な地震に備え施設の耐震化を図るため、平成26年度から「利根導水路大規模地震対策事業」を実施してきましたが、このたび事業完工の運びとなりました。

また、昭和43年の管理開始以降、利根大堰からの累計取水量が令和6年度中に1,000億立方メートルに達する見込みで、一つの節目を迎えます。

このたび、次のとおり完工式典を開催しますのでお知らせします。

日 時：令和6年3月9日（土）10時～ ※概ね2時間を予定

場 所：行田市教育文化センター「みらい」文化ホール
（行田市佐間3丁目24-7）※別紙1（会場案内図参照）

主 催：独立行政法人水資源機構

招待者：国会議員、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、
国土交通省、群馬県、埼玉県、東京都、関係市町、
関係土地改良区、地元関係者等 約80名の皆様

次 第：主催者挨拶、来賓挨拶、来賓紹介、祝電披露、事業経過報告等

※取材に当たっては、別紙2「取材申込書」に必要事項を記載し、

令和6年3月4日（月）12時までに申込みをお願いします。

※式典は、一般の方は参加できません。

令和6年2月26日



独立行政法人水資源機構
利根導水総合事業所

発表記者クラブ

厚生労働記者会、農政クラブ、農林記者会、
経済産業記者会、国土交通記者会、
刀水クラブ、埼玉県政記者クラブ、都庁記者クラブ、
水資源記者クラブ、竹芝記者クラブ、

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 利根導水総合事業所 総務課長 おくた 奥田
住 所：埼玉県行田市大字須加字船川4369
電 話：048-557-1501

取材に当たってのお願い

1. 取材の申込み

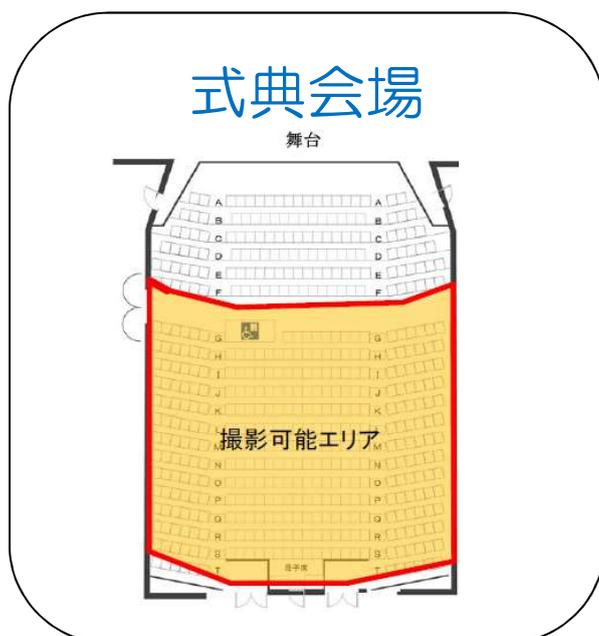
式典の取材、撮影を希望される方は、会場へのご案内等の都合上、別紙2「取材申込書」により必要事項を記載のうえ、令和6年3月4日（月）12時迄に事前申込みをお願いします。

2. 式典会場への来訪と受付

- ①取材申込みされた報道機関の方には、別途「駐車票」を郵送しますので、車両にて式典会場に来訪される際、外から見えるようダッシュボード配置してください。
- ②駐車位置は、会場内係員の誘導に従って駐車をお願いします。
- ③式典会場の受付にて名刺の提出をお願いします。

3. 式典の取材

- ①式典会場内では、主催者の誘導、指示に従っていただき、式典の進行等の妨げにならないようご協力をお願いします。
- ②式典に参列される方々に認知いただくとともに、警備の都合上、取材社が分かるよう取材社証（腕章）の着用をお願いします。
- ③式典開始前の招待者への取材はご遠慮ください。
- ④式典会場内の撮影は、下図に示す「撮影可能エリア」以外の範囲や通路、階段上は通行の妨げになりますので、ご遠慮ください。



利根導水路大規模地震対策事業完工式 会場案内図

1. 広域図



2. 拡大図



※会場入口付近より誘導員が駐車場までご案内します。

独立行政法人水資源機構
利根導水総合事業所総務課 宛
(FAX: 048-557-1506)

利根導水路大規模地震対策事業完工式 取材申込書

必要事項を記入の上、令和6年3月4日(月)12時までにファックスにてお申込みください。

1 機関名

2 代表者氏名(ふりがな)

_____ (_____)

3 取材者人数

_____ 名

4 当日の車両情報

車種: _____ 色: _____

ナンバー: _____

※ 各社基本1台限りとさせていただきます。

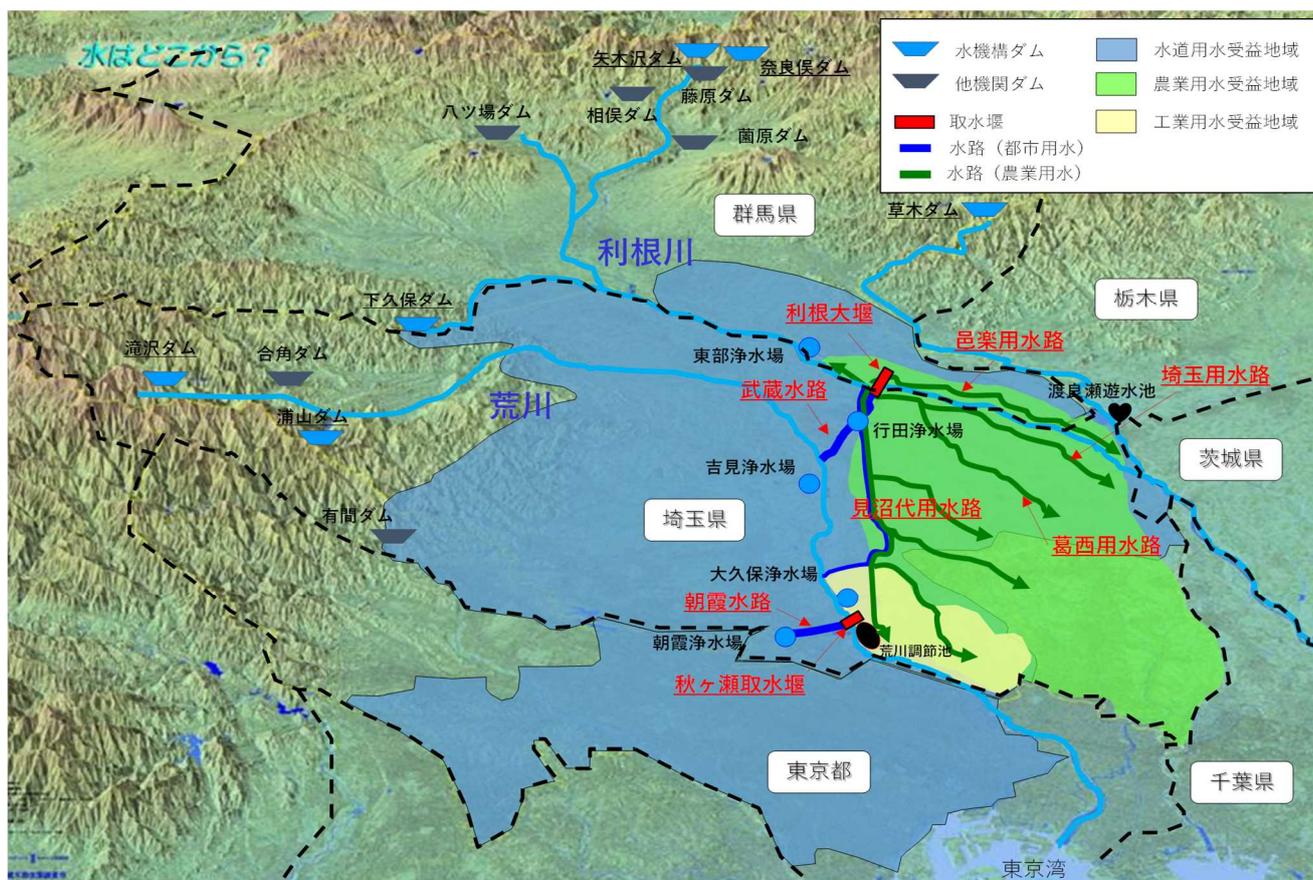
5 駐車票の送付先

住所: _____

6 当日の連絡先(可能であれば携帯番号)

※ 申込書に記載されている情報は、本目的以外には使用しません。

利根導水路の概要



1. 利根導水路とは

利根導水路は、東京都をはじめとする首都圏の水需要の急激な増加と恒常的な水不足等に対処するため、利根川水系における総合的な水資源開発計画の一環として、昭和オリンピックを控えた昭和38年より工事に着手し、昭和43年に管理開始した施設です。

管理開始後も、各施設の機能を維持・増進するため、各種改築事業等を順次実施し、社会の経済・構造変化に伴う要請に応じてきました。

〈目的〉

① 都市用水（水道用水・工業用水）の導水

上流ダム群等で開発された水道用水を東京都・埼玉県・群馬県に供給しています。また、埼玉県に工業用水を供給しています。

② 農業用水の供給

利根川中流部に展開する埼玉県・群馬県の水田に必要な農業用水を利根大堰で統合（合口）して安定的に供給しています。

③ 内水排除

周辺地区の河川の洪水や市街地からの出水を武蔵水路に取りこみ、荒川へ排水することにより浸水被害を軽減しています。

④ 荒川水系の水質改善

河川浄化用水を利根大堰で取水し、武蔵水路を経由して荒川に導水します。さらに河川浄化用水を秋ヶ瀬取水堰で取水し、朝霞水路を経由して新河岸川に導水し、下流の隅田川の浄化を行っています。

利根導水路大規模地震対策事業 背景・概要

1. 利根導水大規模地震対策事業とは

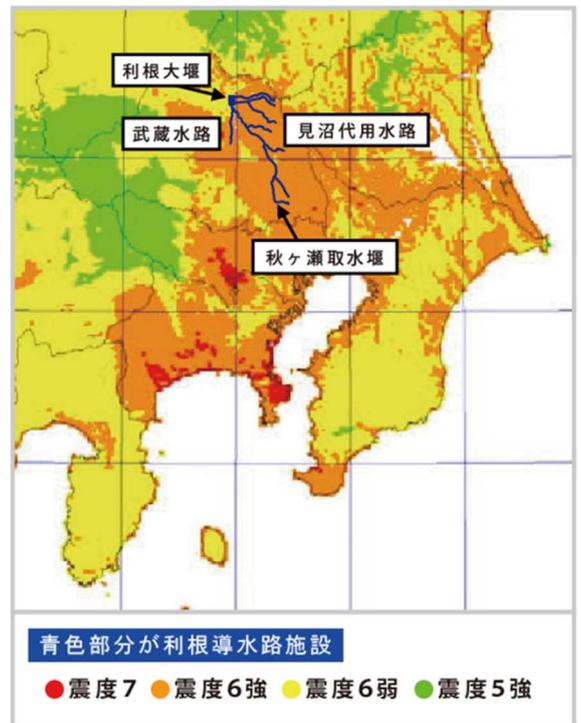
利根導水路施設は、首都圏の約1,670万人が住む地域（群馬県約40万人、埼玉県約590万人、東京都約1,040万人）への水道用水、群馬県・埼玉県に広がる農地約23,300haへの農業用水のほか、工業用水（埼玉県4市、約100事業所）・浄化用水を供給しており、首都圏の水のライフラインとして重要な役割を担っています。

近年、各地で多くの大規模地震が発生しており、南関東でも近い将来に大規模地震の発生が危惧されています。ひとたび当施設が被災し、取水や通水ができなくなった場合、その復旧には長期間を要します。また、水の安定供給への支障や二次被害が生じることも想定されます。

そこで、利根大堰をはじめ、事前に地震対策を講ずる必要のある施設について、それぞれの構造や条件に応じた耐震補強工事を実施し、被害の未然防止や安定通水の確保を図ることを目的に平成26年度より「利根導水路大規模地震対策事業」を実施しました。

2. 事業の背景

平成16年8月、政府の地震調査委員会は、今後30年以内にマグニチュード7クラスの大地震が南関東で発生する確率は「70%程度」と公表（現在も同じ、さらに平成17年9月、中央防災会議は「首都直下地震対策大綱」を策定）するなど、近い将来、南関東地域では大規模地震の発生が危惧されている状況にあります。利根導水路施設は、中央防災会議首都直下地震対策専門調査会で示された右図にて、主に震度6強の範囲に位置しています。

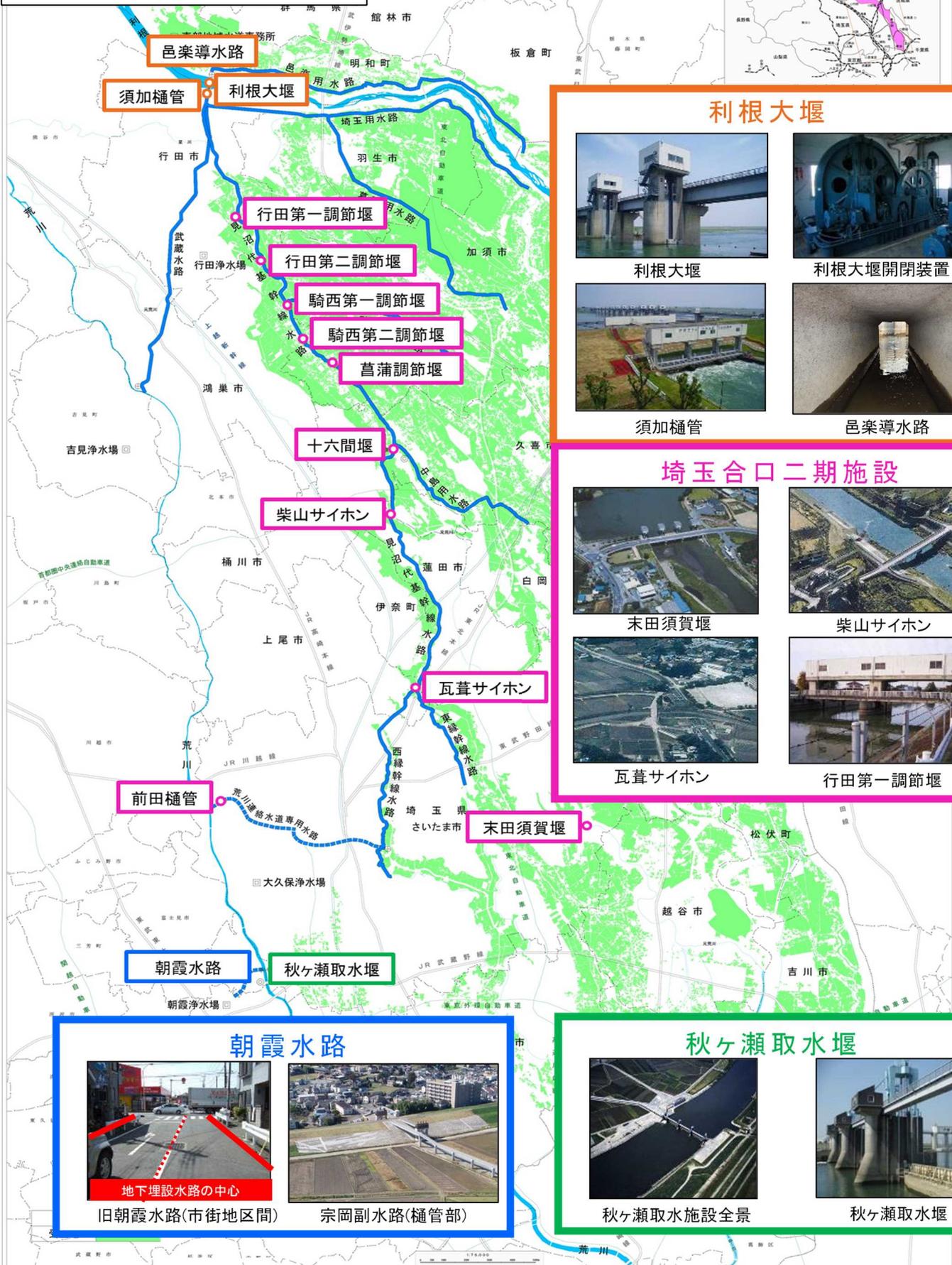


3. 事業の概要

耐震性能照査等の検討の結果、利根導水路施設において震度6強以上の地震が発生した場合、上記の写真のような施設のひび割れや破壊、電源の亡失により、取水や導水に致命的な影響を及ぼす可能性があることが判明したことから、地震時においても安定した水供給を行うため、本事業により事前に地震対策を講ずる必要のある施設の補強等のハード対策を施すものです。

事業名称：利根導水路大規模地震対策事業
事業期間：平成26年度～令和5年度(10ヶ年)
総事業費：約297億円

事業の対象施設



利根大堰



利根大堰



利根大堰開閉装置



須加樋管

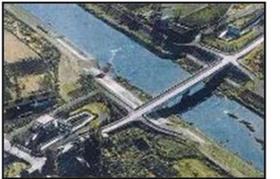


邑楽導水路

埼玉合口二期施設



末田須賀堰



柴山サイホン



瓦葺サイホン



行田第一調節堰

朝霞水路



地下埋設水路の中心



宗岡副水路(樋管部)

秋ヶ瀬取水堰



秋ヶ瀬取水施設全景



秋ヶ瀬取水堰